

件 名	ふじさんミュージアム企画展 甲斐絹をよむ vol.2 : 蚕	問合せ	歴史文化課 24-2411
内 容			
<p>本展は、2023年に富士吉田市で開催された「FUJI TEXTILE WEEK 2023」のデザイン展「甲斐絹をよむ」の続編をふじさんミュージアム企画展として開催します。幻の織物「甲斐絹」に焦点を当て、その背後にある美や文化、そしてこの土地の人々の営みを探求します。本展では特にその素材「絹」を生み出す「蚕」に注目します。</p>	<p>絹糸を生み出す虫蚕は、一般的に「天」の「虫」と書かれますが、「神」と「虫」を合わせて「神虫（かいこ）」と表記されることもありました。なぜこの小さな虫が神と結びついたのでしょうか？その歴史を紐解いていきましょう。</p> <p>絹は、6000年以上前に中国で始まった養蚕の歴史から生まれた美しい繊維素材です。蚕という小さな虫と人々が織りなすこの共同作業は、シルクロードを伝い、日本にもその技術が伝わり、ここ山梨でも独自の絹織物文化を育んでいきました。</p> <p>本展では、その6000年にわたる「虫と人との約束」とも言える関係を再解釈し、絹が持つ生命のつながりを浮き彫りにしていきます。今回は、養蚕農家の芦澤洋平氏やふじさんミュージアム学芸員を「読み手」として迎え、多角的な視点から絹と甲斐絹の歴史や意味を紐解いていきます。絹に込められた命の物語を読み解くことで、甲斐絹が過去の遺産としてだけでなく、未来へと続く生きた織物であることを感じていただけることでしょう。</p> <p>過去、現在、未来をつなぐ「絹」という生命の素材を通じて、織物を「読む」という新たな体験をお楽しみください。</p> <p>会 期 ■ 10月19日（土）～令和7年1月20日（月）</p> <p>場 所 ■ ふじさんミュージアム企画展示室・旧宮下家住宅</p> <p>開館時間 ■ 午前9時30分～午後5時 ※入館は午後4時30分まで</p> <p>休 館 日 ■ 火曜日 ※11月19日（火）～26日（火）は収蔵資料の燻蒸のため休館</p> <p>観 覧 料 ■ 一般400円、小中高生200円 ※会期中は常設展・企画展ともに市民無料</p>		